

主催：一般社団法人 日本施設園芸協会

GPEC NEWS Vol.1

発行元：GPEC NEWS編集室

〒100-0013

東京都千代田区霞が関1-4-2

大同生命霞が関ビル4階

アテックス(株)内

TEL:03-3503-7611 FAX:03-3503-7620

http://www.gpec.jp

施設園芸・植物工場展2014(GPEC) 開催決まる！

10月より出展申込受付を開始

2014年7月23日から25日の3日間、東京ビッグサイトにて開催

施設園芸・植物工場展2014(GPEC)の実施概要が決定した。会場は前回に引き続き、東京ビッグサイト。主催者・事務局は秋口(10月)からの出展募集に向け準備態勢に入った。今回は展示規模・内容ともに、さらなる拡充を図る。前回(2012年)実績を踏まえ、すでに主催者や事務局には、出展に関する問合せも数多く寄せられており、関心の高

前回の成功を踏まえ、さらなる拡充

昨年開催されたGPEC 2012には、国内外の企業219社が出展。3万7千6百名の来場者を迎え、積極的な技術・情報交流、商談が行われた。

第3回目のGPECは、2014年7月23日(水)から25日(金)に開催される。

主催の(一社)日本施設園芸協会は、早々に実行委員会を組織し、展示構成や主催者企画、セミナーの検討を行う予定。すでに、未出展の企業も含め、開催時期や出展に関する問合せが寄せられている。

これまで継続して出展した企業からは、過去の実績を踏まえ、「申込書をすぐにも送る」、「小間数を増やして出展する」といった積極的な声が多い。

事務局は、前回は上回る申込みも視野に入れた準備態勢に入る。特に、燃油価格高騰緊急対策事業で注目される省エネ設備機器のリース業者や商社の参加等、新たな展示も期待される。

省エネ推進とセーフティネット

さがるかかえる。昨今の円安による燃油価格高騰は、施設園芸業界にも大きな影響を及ぼしており、省エネ設備やコスト削減のためのシステムなど、GPECでの最新技術の展示や情報発信が期待されている。

5月末、林芳正農林水産大臣が、日本農業の強化策の一環として、「工場団地のような施設園芸の集積の必要性」を表明した。今後の我が国農業の成長戦略にお



いて重要な役割を果たすとして、施設園芸が改めて各方面から大きな注目を集めている。

一方、燃油価格の高騰が施設園芸農家の経営を苦しめている。施設園芸農家が継続して営農できる環境を整えつつ、中長期的な資源価格リスクに備えるため、施設園芸農家の経営悪化を緩和し、経営構造を転換する策が求められている。

農林水産省は、平成24年度補正予算により425億円の予算を確保し、燃油価格高騰緊急対策事業を開

『施設園芸・植物工場展2014(GPEC)』への案内

日本施設園芸協会は、今年度から一般社団法人として新たな出発をしました。決意も新たに様々な業務を遂行しております。これまで同様、いやこれまで以上に皆様のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

さて、施設園芸・植物工場展2014(GPEC)がいよいよ始動いたします。言うまでもなく、GPECは、施設園芸・植物工場に特化した我が国唯一の専門展示会で、今回は第3回目を迎えます。これまでの2回は予想をは



(一社) 日本施設園芸協会
会長 篠原 温

るかに上回る来場者をお迎えし、大成功裡に終了しており、今回もそれを上回る来場者を目指します。

安倍総理は、「農業を成長産業と位置づけ、活性化に努める」ことを表明しており、農業の中でも成長が期待できる施設園芸・植物工場は、ほかに先駆けてその見本を示すべきだと私たちは考えております。今吹いている「強い追い風」をしっかり受け止め、「強い施設園芸」、「強い植物工場」を実現させなければ、強い日本の実現はあり得ないとすら考えております。その意味でもGPECの果たす役割は計り知れない程大きいと考えております。

GPECは当初から、2年に一度、農閑期である7月末に、アクセスのよい東京ビッグサイトで開催することを決めて出展しております。しかも来場者の主体は、この産業を支える生産

者であることを自覚し、主催者による明確なポリシーを掲げ、来場されたすべての方が必ず何がしかのヒントをお持ち帰りいただける展示会となることを願って、多彩な企画を含めました。その結果、生産者を中心にほんとうに多くの方々が全国から来場され、大きな満足感が得られたと評価されておりますし、展示に参加された企業等の皆様からも非常に高い評価を頂きました。

以上の姿勢は今回の展示会で一層明確なものになりました。私たちも、またまた前回は上回る来場者数を目指します。前回も行った、開催までに4回発行される「GPEC NEWS」を通じて、全国の隅々までGPECの名が知られ、仲間を誘って来場していただけるように最大限の努力を払う所存であります。関係企業等の皆様に置かれましても、ぜひこの展示会に出展され、私たちと一緒にこの展示会を盛り上げるためのご意見、ご注文をお寄せいただけたらと存じます。



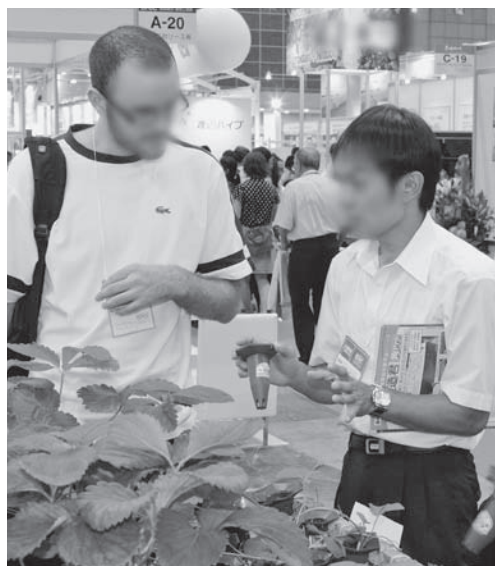
来場誘致活動

前回、国内の施設園芸専門紙や有力媒体への広告掲載、インターネットによる情報発信、招待券やGPECニュースの発行など、様々な方法で来場誘致活動を実施した。

さらに、GPEC開催をより広く知らせるため、ラジオコマーシャルや、新聞に無料招待券を刷りこんだ全面広告を掲載するなど、全国の農業事業者に対して直接PRした。また、協賛団体と連携を深め、GPEC視察を盛り込んだ研修旅行プランの提案など、関係者の来場誘致にも努めた。

GPEC2014のPOINT!

今回のGPECでも、主催者および事務局は、バラエティに富んだ来場誘致活動を展開し、前回は上回る3万8千名の来場者数を目指す。



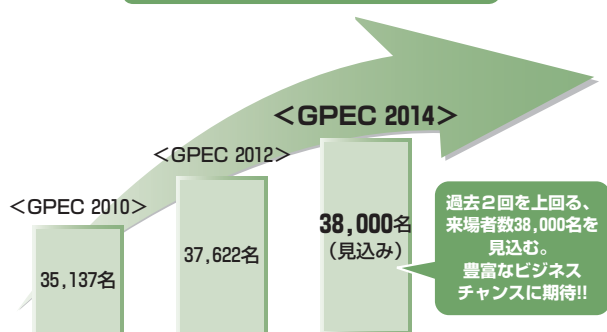
CHECK! 会期までのスケジュール

2013年10月	出展募集開始
2014年2月末日	出展申込締切
2014年3月末日	小間料金支払期限
2014年4月下旬	出展者説明会
2014年7月21・22日	搬入期間
2014年7月23~25日	施設園芸・植物工場展2014

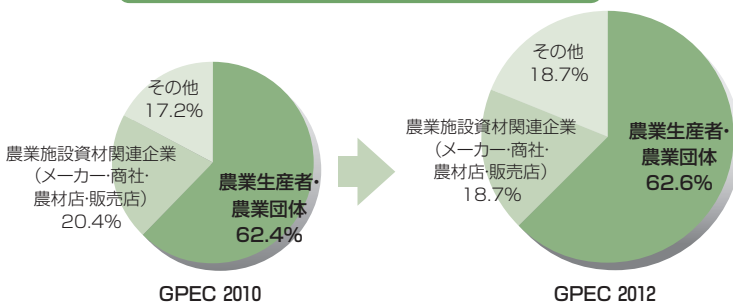
前回データから読み解くGPEC ～来場者・出展者アンケートから～

来場者データ

GPEC 来場者数の推移と予測



GPEC 来場者 業種別構成比率の推移

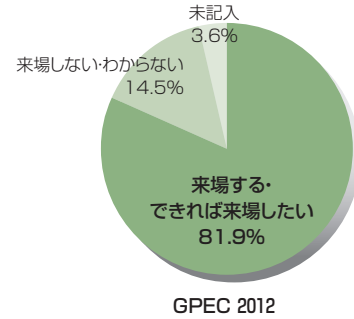


★出展者にとって直接的ユーザーである「農業生産者・農業団体」が、全体の6割を超える高水準で推移している。GPECは、「ユーザーが会いに来る」貴重なビジネスステージだ。

GPEC2012 来場者の生の声

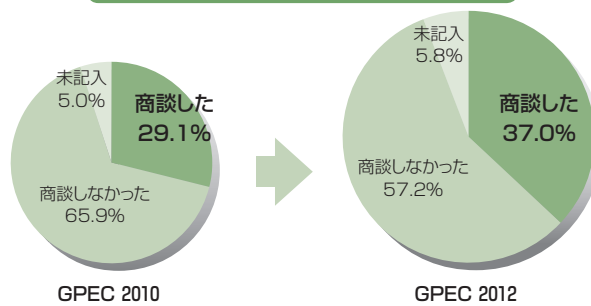
- ・数多くの出展者との交流、情報交換ができた。
- ・企業がたくさんあり、知る機会が多々あった。
- ・出展企業、展示デモ等充実していて良い。
- ・展示が見やすかった。
- ・情報をたくさん入手できた。次回も来場したい。
- ・現状の施設園芸の動向を知ることができた。
- ・植物工場の現状を理解することができた。
- ・新しい植物育成方法について勉強できた。
- ・3日間滞在したが、活況で良かった。
- ・出展者と話をしたくても、混んでいることが多かった。
- ・通路が通れないほど、人であふれていた。

次回のご来場予定は？



★次回も来場したいと答えた来場者は全体の8割を超える。GPEC2014も、多くの来場者が見込まれる。

会場で出展者と商談しましたか？



★商談の割合が約8%増加している。ビジネスチャンスを逃すまいとする出展者の努力が実ったことがわかる。

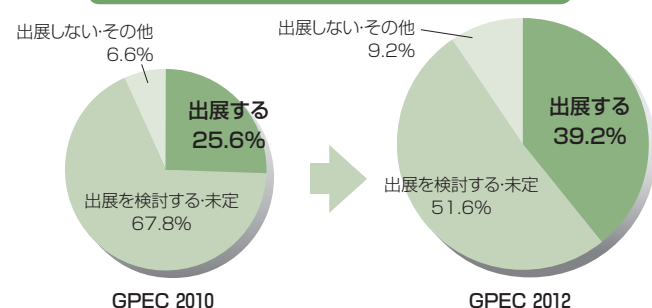


出展者データ

GPEC 出展者数の推移と予測



GPEC 出展者 次回出展希望の推移



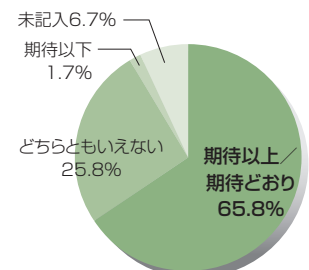
★初回に比べて、積極的に「次回も出展する」と答えた出展者の割合が増加。GPECが出展者の期待に十分に答えていることを表している。

GPEC2012 出展者の生の声

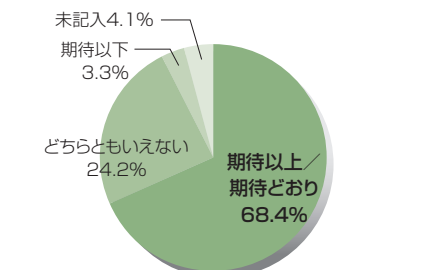
- ・予想以上の来場があった。
- ・農業生産者が大変多く来場した。
- ・活気があった、集客に満足している。
- ・事業家パートナーの情報が得られた。
- ・多数のメディアが注目していた。
- ・確かなコンセプトで開催している点が良い。
- ・施設園芸、植物工場と分野を絞っている点が良い。
- ・会場の運営がスムーズであった。
- ・有益な商談の場となった。
- ・来場者へ商品PRすると共に、商品に対する貴重な意見をもらった。

GPEC 2012出展者 今回の出展に対する評価は？

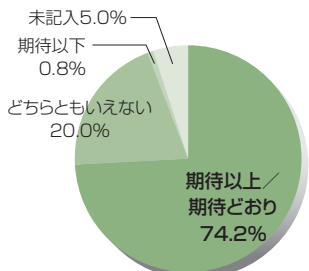
新規顧客獲得の場として



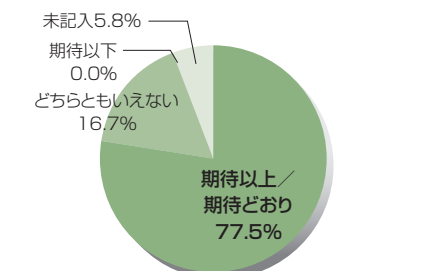
貴社ターゲット層と来場者層の合致について



販促・PRの場として



貴社ブースでの来場者の反応は



★総じて、出展者の満足度は高い。特に「来場者の反応」は約8割の出展者の期待にえている。新規顧客獲得、販促・PRの場としても、GPECは有効活用できる展示会だ。

前回出展者一覧 (分野別50音順、※は共同出展者、社名は出展当時)

施設本体:ハウス・太陽光利用型植物工場
 IDEC(株)
 秋田エコブラッシュ(株)
 ※(株)リサイクルワン
 ※(株)グランバ
 ※(一社)施設野菜バンク
 アキレス(株)
 (株)アシストジャパン
 ※(株)シラオイ
 AGCグリーンテック(株)
 MKVDリーム(株)
 ※三菱樹脂(株)
 カネコ種苗(株)
 協和(株)
 佐藤産業(株)
 サンキンB&G(株)
 日本ワイドクロス(株)
 (株)光変換光合成促進農法
 三菱樹脂(株)
 ※MKVDリーム(株)
 みづほ物産(株)
 渡辺パイプ(株)
 トミタテクノロジー(株)
 ※Arend-Sosef BV
 ※FormFlex Hortisystems B.V.
 ※PRIVA B.V.
 ※Richel Serres de France
 ※VB Climate B.V.
 ※Visser International Trade & Engineering B.V.

施設本体:完全人工光型植物工場
 (株)アルミス
 (株)キーストーンテクノロジー
 ※(株)アグリ王
 (株)成電工業
 大和ハウス工業(株)
 (株)ニシケン
 原田産業(株)
 (株)フィリップスエレクトロニクスジャパン
 ILLUMITEX, INC.
 INSUNG TEC CO., LTD.
 ※(株)セネコム

付帯設備・機器・施設園芸用
 有光工業(株)
 (株)イリテック
 エスベックミック(株)
 ※エスベック(株)
 サンテラ(株)
 全国農業協同組合連合会
 ※サンテラ(株)
 ※シーアイアグロ(株)
 ダイオ化成(株)
 (株)大仙
 東都興業(株)
 ナスコフィッティング(株)
 日本クリントン(株)
 日本合成化学工業(株)
 ※東京インキ(株)
 日立アプライアンス(株)
 フルタ電機(株)
 ※フルタ・エンネツ(株)
 (株)ホーグス
 マックス(株)
 (株)ヤマヒロ
 ヤンマーグリーンシステム(株)
 ※ヤンマー(株)
 ※ヤンマーエネルギーシステム(株)
 GREENPORT HOLLAND INTERNATIONAL
 ※Incotec
 ※DLV Plant
 ※Horti MaX
 ※Van der Hoeven
 ※WAGENINGEN UR
 KAMICO(KOREA AGRICULTURAL MACHINERY INDUSTRY COOPERATIVE)
 ※BOOJUN CO.,LTD.
 ※CHUNG-OH ENGINEERING CO.,LTD.
 ※DELTEXSCREEN CO.LTD.
 ※DONGWON TECH CO.
 ※ECO SOLATEC CO., LTD.
 ※GREENSUPPLIES CO.,LTD.
 ※JEONG-IL GLOCHEM CO.
 ※KYUNG IN PACK CO.
 ※NAMKYUNG CO.,LTD.
 ※SHINAN GREEN-TECH CO.,LTD.

※WOOSUNG HITEC CO., LTD.
 ※YUK-IL AGROW SPUN CURTAIN CO.
 L-Field Corporation
 ※マルデンクローゾジャパン(株)

付帯設備・機器:植物工場用
 揖斐川工業(株)
 (株)イワキ
 (株)ウエルコ
 (株)サンボリ
 (株)セムコーポレーション
 (株)テクネ計測
 永柳工業(株)
 (株)日本医化器械製作所
 ビーエス(株)
 Horti Partner(ホルティ・パートナー)
 ※イシグロ農材(株)
 ※AGCグリーンテック(株)
 ※シーアイ化成(株)
 ※シーアイマテックス(株)
 ※(株)誠和
 ※トヨハシ種苗(株)
 ※ネボン(株)
 ※(株)みらい
 QEE Technology Group

種苗、育苗資材、育苗システム
 イワタニアグリグリーン(株)
 ※京和グリーン(株)
 ※岩谷産業(株)
 (株)サカタのタネ
 (株)サンホープ
 大和技研工業(株)
 東京インキ(株)
 ※日本合成化学工業(株)
 トキタ種苗(株)
 日東紡績(株)
 日本デルモンテ(株)
 日本ロックウール(株)
 福井シード(株)
 インパック(株)
 ※CYKLOP NEDERLAND B.V.

肥料、農薬
 大塚アグリテクノ(株)
 ※(株)シナジーテック
 ソフト・シリカ(株)

収穫、選別、運搬、包装資材、包装システム
 大石産業(株)
 (株)クボタ
 タキゲン製造(株)

生産・栽培管理システム、IT関連機器
 (株)イーエス・ウォーターネット
 SMC(株)
 (株)NTTファシリティーズ
 小林クリエイティブ(株)
 東海物産(株)
 ※(株)にしはら葉彩
 ※システムエムズ
 トヨハシ種苗(株)
 ※AGCグリーンテック(株)
 ※佐藤産業(株)
 ※サンキンB&G(株)
 ※ダイヤテックス(株)
 ※(有)タカショー
 ※(株)デンソーウェーブ
 ※(株)デンソーセールス
 ※日本オベレーター(株)
 ネボン(株)
 ※NEC 日本電気(株)
 富士電機(株)
 ISHIGURO HOLLAND
 ※Hoogendoorn Growth Management
 ※Van Iperen International B.V.
 ※Van der Knaap Group

特設ゾーン(流通管理、予冷・保冷・保存)
 (株)イシダ
 住友ベークライト(株)
 青果物カット事業協議会
 青果物選果予冷施設協議会
 (株)精工
 (株)ベルグリーンワイズ
 野菜ビジネス協議会

自然エネルギー・省エネ機器・省エネ資材
 (株)イース

リース・融資
 JA三井リース(株)

団体・メディア・書籍・その他
 いわきビジネス復興協議会
 ※(有)とまとランドいわき
 ※農事組合法人いわき菌床椎茸組合
 ※いわき魚類(株)
 ※(株)おのざき
 ※いわき復興オフィス東京
 園芸情報センター
 オランダ王国大使館
 (株)国際農業社
 (株)コスモサウンド
 (株)新農林社
 全国野菜園芸技術研究会・全野研協賛会
 (社)日本施設園芸協会
 (社)農山漁村文化協会
 (株)VIPグローバル
 (株)フローラ
 (株)メルシー
 (株)ヤマト
 晋州国際農業博覧会

大学・研究機関・コーナー
 イチゴ種子繁殖型品種開発コンソーシアム
 ※植物工場三重実証拠点
 (国)宇都宮大学
 ※工学研究科
 ※農学部
 ※(有)スペクトルデザイン
 ※栃木県産業技術センター
 愛媛大学 植物工場センター
 神奈川農業技術センター
 (財)社会開発研究センター
 植物工場・農商工専門委員会
 ※(株)朝日工業社
 ※(株)阿蘇ファームランド
 (株)ジャパンドームハウス
 ※(株)シバサキ
 ※昭和電工(株)

※帝人(株)
 ※NI帝人商事(株)
 ※日本アドバンスアグリ(株)
 ※(株)ima
 ※菱江化学(株)
 信州大学 先進植物工場研究教育センター
 ※アグリウェーブ(株)
 全国農業高等学校長協会・
 東京都高等学校教育研究会農業部会
 ※日本学校農業クラブ連盟
 千葉大学
 (国)東京大学大学院工学系研究科 山田研究室
 ※(株)オネスト
 (国)東京農工大学
 (国)豊橋技術科学大学
 ※(株)豊橋キャンパスイノベーション
 日本省エネ温室研究会
 ※(株)農研機構
 近畿中国四国農業研究センター
 ※(株)農研機構 農村工学研究所
 ※東海大学 開発工学部
 ※高知大学 農学部
 ※香川県農業試験場
 ※香川県西讃農業改良普及センター
 ※三重県農業研究所
 ※(株)GTスパイラル
 ※佐藤産業(株)
 ※山口智治(前 筑波大学大学院 教授)
 日本養液栽培研究会
 (株)農研機構 九州沖縄農業研究センター
 (株)農研機構 野菜茶業研究所
 明治大学 植物工場基盤技術研究センター
 (国)山口大学
 ※山口県産業技術センター
 ユビキタス環境制御システム研究会
 ※三基計装(株)
 ※ステラグリーン(株)
 ※(株)東洋情報通信研究所
 ※(株)富士通九州システムズ
 ※富士通(株)
 ※近畿大学 生物理工学部

出展に関する資料請求や詳細のお問合せ先

GPEC Greenhouse Horticulture & Plant Factory Exhibition / Conference
 施設園芸・植物工場展

施設園芸・植物工場展(GPEC)事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル4階 アテックス(株)内
 TEL:03-3503-7611 FAX:03-3503-7620 www.gpec.jp

E-mail: ofc@gpec.jp